

(振興局調整費)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主 体	事 業 対 象 者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果及び 住民の満足度	今後の課題及び 取組方向
総務 企画部	佐藤 秀継	地域 企画課	企画 振興班	大場 直樹	0186-22- 0456	鹿角地域振興局「知っ 得」広報推進事業	地域振興局の広報機 能を強化するため、地 元コミュニティFM「鹿角 きりたんぼFM」を活用 し、県事業等を広報す るとともに、ラジオのリ アルタイム性を活かし 災害時や緊急時に情 報提供を行う。	317,400	直 営	スポットCM放送(40秒 間)を143回、番組提供 放送(5分間)を1回実 施した。	県	地域住民	平成26年5月16日	・FM放送を視聴した住 民が、県主催イベント へ参加する等の効果が あり、広報機能の強化 が図られた。 ・県事業を知る機会が 増え、地域住民の理解 や参加促進等につな がった。	今後も地域住民の求める 情報を迅速かつ適切に提 供していくために、様々な 手法による広報活動を実 施していく。
						平成27年10月21日									
農林部	齊藤 秀悦	農業振興 普及課	課長	高橋 佐	0186-23- 2123	高校生が創る「鹿角の 食材クリエイト事業」	鹿角地域の食材のPR や消費拡大のため、高 校生による新たな加工 品のレシピの開発を行 う。	94,866	直 営	・花輪・十和田高等学 校食物部で、鹿角地域 の特産物であるエダマ メ、ブルーベリー等を 使った新たな加工品4 品目を試作し、校内の 試食やイベント出店で 意見を求め改善を重ね た。 ・2月17日に鹿角市交 流センターにて鹿角市 内宿泊業者、エダマメ ブルーベリー生産者を 参集し、活動報告会を 開催した。	県	花輪・十 和田高等 学校 食物部	平成26年6月11日	・高校生の発想による 地域食材を活用した新 たな加工品開発が進ん だ。 ・両校食物部員は地域 農産物の知識を深める とともに、生産現場で農 作業体験、生産者との 意見交換、コンクール イベントを通じて地域社 会とのつながりを持っ た。 ・生産者は、加工品と して新しい展開に触れ ることにより、自らの生 産物の可能性を認識で きた。	・更なる加工技術の向上、 ネーミング等の検討を進 める必要がある。 ・開発したレシピを旅館業 者、菓子店に紹介し、商品 化を図る。
						平成27年10月21日									
総務 企画部	佐藤 秀継	地域 企画課	十和田 八幡平 観光班	齋藤 隆	0186-22- 0458	鹿角ブランドでおもてな し・売り込み事業	交流人口を増加して賑 わいを取り戻すため、 新たにオープンした「小 坂鉄道レールパーク」 や、国指定重要無形民 俗文化財「花輪ばやし」 など、鹿角らしさを観光 と食の面で打ち出し、 地域を売り込む必要が ある。	291,440	直 営・ 委 託	①大規模コンベンション 等の場を活用した鹿角 の特産品PR(「かつの 北限の桃」ジュースの 配布2回510本)。 ②管外イベント(7月20 日青森県黒石市「クラ シックカー青森ミーテ ィングinこみせ)」の場を 活用した花輪ばやしの 実演(1回)、特産品PR (「かつの北限の桃」 ジュースの配布2回440 本)。	県	県内外か らのコン ベンシ ョン来 場者、 管外 イベント 来場の 観 光客等	平成26年6月10日	①管内コンベンションで は、地元の特産品作っ たジュースであること をアピールでき、地域の 売り込みをすることが できた。 ②管外イベントでは、花 輪ばやしの実演と連動 し、鹿角のイメージを高 めた。また、地酒を試飲 できない方や子供に対 しては直接振る舞うこと で美味しさを感じてい ただくとともに、鹿角地 域の特徴を直接伝える ことができた。	直接振る舞うことで「かつ の北限の桃」を知ってもら えるが、ジュースの販売は 鹿角市内かネット販売しか 対応できないので、直接 販売することにつなげられ なかった。 物販イベントでの試飲や 販路拡大などによる相乗 効果を図る必要がある。
						平成27年10月21日									

(振興局調整費)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主 体	事 業 対 象 者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果及び 住民の満足度	今後の課題及び 取組方向
総務 企画部	佐藤 秀継	地域 企画課	企画 振興班	渡部 由美子	0186-22- 0456	第29回国民文化祭イン ターネット配信・鹿角情 報発信事業	・第29回国民文化祭の 鹿角市の開催事業につ いて、インターネットを 利用したライブ中継等 を実施し、国民文化祭 全体の盛り上がりを図 る。 ・鹿角地域の観光情報 に係る動画も配信し、 交流人口の拡大及び 誘客促進を図る。	122,472	委託	①インターネットライブ 中継およびダイジェス ト版の配信 ・「神楽フェスティバル」 (10月19日) ・「小倉百人一首かるた 協議全国大会」(11月 1、2日) ②鹿角市・小坂町の観 光情報配信(随時)	県	国民等	平成26年9月19日	・契約期間中、延べ計 3,321アクセス ・うち、ライブ配信に係 る延べアクセス数 神楽 1,187アクセス かるた 1,587アクセ ス ・サイトにアクセスする とまず各種の管内観光 動画が流れる造りとし たため、効果的に管内 の情報を発信するこ とができた。	鹿角市の3つの国指定重 要無形民俗文化財、ま た、小坂町の明治の芝居 小屋等、管内の豊かな文 化資産を活用した、交流 人口の増加を目的とする 様々な施策が、今後も必 要である。
						平成26年10月1日～ 平成26年11月30日									
農林部	齊藤 秀悦	農業振興 普及課	果樹産地 支援班	船山 瑞樹	0186-25- 3231	「かつの北限の桃」生 育障害対策事業	平成26年5月中旬頃か ら、「かつの北限の桃」 樹の13.7%において、 枯死や衰弱などの生育 障害が発生した。その 要因の解明と再発防止 のための対策技術の確 立が急務となっている。	72,221	直営	2月26日にホテル鹿角 にて、かつの果樹セン ター、福島県及び山形 県の研究員による生育 障害の事例発表や、生 産者からの質問、意見 に基づいて今後の対策 についての意見交換を 行った。	「かつの北限 の桃」生育障 害対策本部、 県	鹿角管内 モモ 生産者	平成27年1月7日	今回の生育障害は、他 のモモ生産地におい ても発生していること と、原因や対策につい ても共通認識を持つこ とができた。また、現 段階において生育障 害を回避するための 栽培上のポイントが 理解され、今後の 生産へ向けて効果 的であった。	福島県や山形県と情報 交換を行いながら原因 解明や対策技術の確 立を図る。また、主 因と考えられる凍 害対策の徹底を図 る。
						平成27年1月9日～ 平成27年3月31日									
総務 企画部	佐藤 秀継	地域 企画課	企画 振興班	渡部 由美子	0186-22- 0456	「かつの牛」PRグッズ 作成事業	「かつの牛」の知名度 は徐々に高まりつつあ るが、地域ブランドと しては確立途中で あり、消費拡大を図 っていくためには、 継続的に広報活動 を実施していく 必要がある。	253,250	直営	次のPRグッズを作製 し、管内の関係機 関、取扱店、観光 施設等に配布した。 ・ポスター(A1版)100 枚 ・卓上のぼり 50組 ・タペストリー 4組	県	鹿角地域 の住民	平成27年1月21日	・地域施策推進事業 「かつの牛生産拡大 応援事業」の「かつ の牛」食べ歩きマ ップの作成に 合わせ、PRグッズ を作製することで、 地域住民へのPR 効果が相乗的に 高まることと ともに、地元での 消費拡大の一 助となった。	今後とも継続的にPR 活動を実施すること で消費拡大を進め、 地域ブランドとし て確立を図っていく。
						平成27年1月22日～ 平成27年3月31日									